

まちづくり提言の公表（令和7年10月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	意見の内容（一部を要約しています。）	回答内容（一部を要約しています。）	担当課
福川駅の歩道橋について	<p>福川駅の歩道橋についてですが、現在工事中で通行できず、車を持たない人にとっては非常に不便に感じています。工事はいつ頃までかかる予定でしょうか。できるだけ早く利用できるようになることを願っています。</p> <p>また、今後の利便性を考えると、都会の線路のように踏切を設け、平面で移動できるようにしていただきたいです。足の不自由な方やベビーカーを利用される方にとっても通行しやすくなると思います。</p> <p>歩道橋は年数が経てば再び修繕が必要になりますので、踏切の設置をご検討いただきたいです。</p>	<p>福川駅を跨ぐ歩道橋の補修工事については、老朽化が著しく、当初の想定より補修内容が多くなったことにより通行止め期間が長引いており、ご迷惑をおかけしています。</p> <p>ご意見のあった平面移動の手段となる踏切の設置につきましては、安全面や設置場所を考慮すると大変厳しいと考えています。</p>	道路課
高齢者の移動手段について	<p>免許証を返納したくても、現状では十分に移動手段が確保されておらず、返納をためらう高齢者が多い状況です。</p> <p>バスについては、低床バスの導入や運賃の引き下げなど、より利用しやすい工夫が必要です。また、公共交通をさらに充実させることで、買い物や病院への移動も車なしで可能となり、高齢者の生活の安心につながると考えます。</p>	<p>低床バスの導入については、路線バスの運行事業者である防長交通株式会社様が順次導入を進めておられます。運賃については、市が「高齢者バス・タクシー運賃助成制度」を設け、バス・タクシーを利用する高齢者に対して運賃の一部を助成し、外出しやすい環境を創出するなどの取り組みを行っています。</p> <p>また、路線バスが廃止された地域などにおいて、タクシーを含めた他の交通手段がない場合には、必要に応じて代替えとなるコミュニティ交通を導入し、スーパーや病院などの生活サービスが集積する地区への移動手段の確保に努めています。</p>	公共交通対策課